

教科名 美術科 2年生評価計画

観点については、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度、とする。

指導単元	観点	単元の評価規準 学習評価表	具体的評価目標 おおむね満足 B	評価方法 場面
西洋美術史	① ② ③	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞活動を通して西洋美術史の概念や固有の特徴などについて興味や関心を持つことができる。 ・時代や社会の変化、諸外国との交流に着目して西洋美術を鑑賞することができる。 ・文化や伝統として受け継がれてきた西洋の美意識や創造的な心などについて理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞活動を通して、西洋の美術の概念や固有の特色などを積極的に調べ、深く味わおうとする。 ・時代の変化や諸外国との交流に着目して西洋美術の美しさや、独創性を感じ取ることができる。 ・文化や伝統として受け継がれてきた西洋美術独特の美意識の良さや価値観を見出し、見方や感じ方を深めることができる。 ・西洋美術がどのように日本美術に影響を与え、変化していったのか、これからの日本美術のありかたについて思索を深めることができる。 	ワークシート ペーパーテスト
透視図法	① ② ③	<ul style="list-style-type: none"> ・透視図法を理解し立体表現に生かせるよう、理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・透視図法の作図法を理解し、立体表現に生かすことができる。 	ワークシート ペーパーテスト
自画像鉛筆デッサン	① ② ③	<ul style="list-style-type: none"> ・自己を見つめ、気持ちや意志を前向きに表現しようとすることができる。 ・自分を客観的に見つめ、自分の主題を発想し構想することができる。 ・写実的な見方で細部まで書き込み、質感まで表現しようとする事が出来る。 ・抽象的な内面を見つめ、描 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身を深く見つめ、主題を見つけて独自の表現方法を工夫して気持ちや意志を前向きに表現することができる。 ・自分を客観的に見つめ、自分を深く掘り下げ、表現意図や存在感を強めることができる。 ・鉛筆の濃さや柔らかさ、練 	自画像作品 ペーパーテスト

		<p>きこむことで表現しようとする事が出来る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自他の作品から良さを発見し、深く味わおうとすることが出来る。 	<p>消しゴムによる質感の表現を工夫しながら豊かな表現が出来ている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自他の作品から、作者の意図を感じ取り、独自の視点から味わうことが出来る。 	
木彫箱 飾り彫り	① ② ③	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な木彫表現について理解を深め、積極的に味わおうとする。 ・飾り彫りの種類の違いに気づき、それぞれの彫りのよさを理解しデザインすることができる。 ・彫刻刀の使い方を理解して、適切な表現が理解できる。 ・一つ一つの彫りの手順を理解して、美しい彫りにつなげることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・彫刻刀の種類、用途を理解し独自のデザインを考え、制作ができる。 ・片切り彫り、かまぼこ彫り、菱彫り、薬研彫りの制作過程を理解し、デザインに生かし表現することができる。 ・定められた時間内を有効的に使い、より積極的に工夫をした制作ができる。 ・人の手が作り出す作品の美しさ、温かみに触れる。 	ワークシート 表現活動の観察 木箱作品 ペーパーテスト
平面構成	① ② ③	<ul style="list-style-type: none"> ・形と色の構成を理解し、基礎的な技法や考え方を身につけ、平面構成を表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・形と色を組み合わせ、自分なりの秩序のある美しい画面を構成することができる。 	ワークシート 平面構成作品